

前日企画報告

招待セミナー

馬淵智生
(東海大学)

大会前日の4月25日(金)、会頭招宴会と同時進行で招待セミナーが開催されました。会場はホテルニューグランド本館2階、レインボーボールルーム。齊藤隆三先生と日野治子先生のお二人による、「“見えていますか？見えていますか？” 齊藤隆三と日野治子の色問答」という参加者も加わっての問答で、63名もの多くの先生にお集まりいただきました。当日、進行をお手伝いさせていただきました東海大学の馬淵がご報告させていただきます。

私は、「若手班」のメンバーとして実行委員の末席に加えていただきました。通称「若手班」と称されていたために、メンバーが若手の班と誤解されることもありましたが、正式には「若手医師への企画班」であり、卒後間もない、日臨皮にも入会していない若手皮膚科医にも臨床学術大会に参加してもらおう(参加させよう!?)という企画班でした。招待セミナーは当初“若手医師をご招待”というコンセプトを組み入れていただいた企画でしたが、参加希望者を募集したところ、魅力的な内容ゆえ、多くの中堅・ベテランの先生方にも参加いただける企画となりました。

この色問答は、会頭の栗原誠一先生肝煎りの企画でした。私が研修医の頃、栗原先生に「皮膚の色は何でできているの？」と質問され、皮膚科学の奥深さを考えるきっかけのひとつになったことは、今でも忘れられません。この企画を誰よりも楽しみにされていたのが栗原会頭です。別会場で開催されている招宴会を抜け出すという、会頭にあるまじき行動で、途中、司会として参加されていました(写真をご覧ください)。これには日野先生も驚かれていました。その栗原会頭の思いを、齊藤隆三先生と日野治子先生、会場で問答に加わってくださった参加者の先生方が素晴らしい形にしてくださいました。齊藤先生と日野先生は、事前に何度も何度



齊藤隆三先生と日野治子先生



参加者も問答に加わっていた



司会をされる栗原誠一会頭



懇親会で挨拶される事務局長の鎌田英明先生



懇親会で色問答される (?) 齊藤先生と鎌田先生



日野先生を囲んで

も打ち合わせくださり、会場設定から講演の流れまで多くのアドバイスをいただきました。齊藤先生によるイントロ、紅斑を例にした症例の解説に続き、日野先生による多数の貴重な症例提示を基にした参加者との討論、あつという間の2時間でした。解答者には景品が配られたのですが、その景品は日野先生自らご用意されたものでした。齊藤隆三先生と日野治子先生に改めて御礼申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。

色問答終了後は、本館5階スターライトルームに場所を移して懇親会が開催されました。横浜港の夜景が眼下に広がる宴会場で、齊藤先生、日野先生にもご参加いただきました。懇親会の席ですが、ここでもあちらこちらで色問答が繰り広げられていました。この席で、齊藤先生にも日野先生にも「楽しかった」とおっしゃっていただけました。参加された先生方も口々に「勉強になった。そして楽しかった」と感想を述べられていました。今回の臨床学術大会のコンセプトは「楽しむ」こと。この色問答は大成功でした。

主催：第30回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会

第30回臨床大会 招待セミナーのご案内

「見えていますか？ 見えていますか？」
色問答
齊藤隆三と日野治子の

赤、紫、黄、緑など皮膚はさまざまな色を見せてくれます。われわれ皮膚科医は、“赤い”をどのような赤と表現し、その色が示している病態を考えることを学んできています。

第30回臨床大会の開催にあたり、齊藤隆三先生と日野治子先生のお二人にお願ひして「色」をテーマに皮膚科医力を高める講座を企画しました。日臨床会員に限らず、皮膚科医ならどなたでも参加できますので、以下の要領でお申込みください。また、引き続き開催する前夜祭にもぜひご出席ください。参加ご希望の方にはあらかじめ招待状をお送りします。

記

期 日：平成26年4月25日（金）午後7時00分より

参加費：無料。先着100名まで、大会よりご招待致します

■第1部：招待講座 午後7時～8時30分
会 場：ホテルニューグランド 本館2階「レインボーボールルーム」〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町10 電話番号：045-681-1841
内 容：造詣の深いお二人を中心に、参加者も加わっての色問答 夕食を摂りながら講座を行います

■第2部：前夜祭 午後9時より11時まで
会 場：横浜港に面した眺めの良いパーティー会場
内 容：別会場で開催される全国からの招待者と合同で行います

招待セミナーの案内状

招待状

第30回日本臨床皮膚科医会臨床学術大会
招待セミナー

「見えていますか？ 見えていますか？」
色問答
齊藤隆三と日野治子の

先生

貴殿を平成26年4月25日に開催する標記セミナーにご招待いたします。時間の許す限りお楽しみください。

■第1部：招待講座 午後7時～8時30分（開場：午後6時30分）
会 場：ホテルニューグランド 本館2階「レインボーボールルーム」〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町10 電話番号：045-681-1841（代）
内 容：造詣の深いお二人を中心に、参加者も加わっての色問答 夕食を摂りながら講座を行います

■第2部：前夜祭 午後9時より11時まで（第1部開場よりご案内します）
会 場：横浜港に面した眺めの良いパーティー会場
内 容：別会場で開催される全国からの招待者と合同で行います

平成26年4月
第30回日本臨床皮膚科医会総会・学術大会

参加希望者にお送りした招待状

前日企画報告

念願の前夜祭

増田智栄子
(いずみ野皮ふ科)

2年前に神奈川が主催と決まった当初から、是非とも前夜祭をやりたいとずっと言い続けておられた。

学会前日は、会頭招宴会を開催することが通例となっているが、これは、日ごろ皮膚科医の医療環境の改善に努力していただいている日臨皮本部の先生方と、今回の学術大会でご講演、ご協力いただく先生方へのおもてなしをする会で重要な行事である。

しかしながら、会頭は、それに参加されない若手の先生方が気になってしょうがなかったようで、全国からいらっしゃる次代の皮膚科を担う先生方に、ベテランの先生方との交流の場を是非設定したいと思っていってしまった。

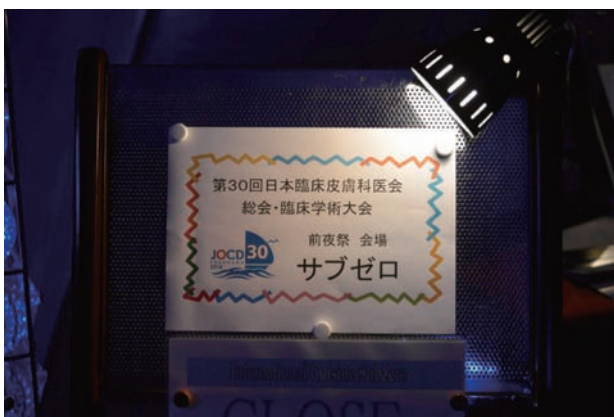
一方、事務局長の立場からは、会頭招宴会を滞りなく催行できるかどうか危ぶまれるうえに、前夜祭の時間と場所をどのようにして捻出するのかと、最後まで議論が続いた。

そこを会頭が押し切れ、若手向けに、会頭招待セミナーとして「色問答」を会頭招宴会と同時に別会場で催行し、その後、若手とベテランのコラボレーション前夜祭を開催しようという妙案を出してきて、やっとなりめでたく両者歩み寄る結論が出た。

二人のやりとりを見てきた私に2013年の12月25日に、二人からメールが入った。

「前夜祭をすることになったが、サブゼロを押さえられるか」と。

以前から、もし前夜祭をやるならどこにするかは数人で見学してきた。昔一世風靡した元町のダンスホール「クリフサイド」は、今も“通”には健在なようであったが、華やかさに欠け、おもてなしには不向きと却下。



前夜祭看板



前夜祭会場。大棧橋先端にあるレストラン「サブゼロ」



それで、ひとつ気になる場所を候補にあげさせていただいた。10年ほど前に、大栈橋ホールであったビッグバンドのコンサート帰りに立ち寄った、大栈橋先端にあるレストラン「サブゼロ」。客船に乗ったような気分で海からみなとみらいを望み、行き交う船を眺め、一人でも充分楽しむことができた。思いっきりヨコハマを感じられるおしゃれな空間で、老若男女に気に入られるのではないかと提案した。

メールを受けてすぐに電話で問い合わせたところ「来年4月25日金曜日の夜は貸し切りで用意することができます」と返事を戴いた。六曜暦をみると仏滅。神様は応援してくれていたようだ。

そして当日。会頭招宴会を終えた先生方と会頭招宴セミナーを聴講された先生方が、次々とタクシーに乗ってニューグランドから到着され、いよいよ午後9時過ぎから会頭念願の皮膚科医ベテラン若手一堂に会する前夜祭を始めることが出来た。

前夜祭会場にて、副会頭としてひとことご挨拶させていただいた。「明日からの学会を前に大いにリラックスしていただき、ベテラン若手の交流を深めていただければ主催者として大変喜ばしいことと存じます。では皆様お楽しみ下さい」と。きっと花開くことでしょう。

